

紀の里農業協同組合

(事例⑦：JAグループによる農泊推進)

[和歌山県紀の川市]

- JAによる農家民宿の取組農家拡大に向けた研修の実施や、JAグループ全体で農泊をビジネスとして推進するための研究会を立ち上げるなど、JAが中核組織として農泊を推進。
- JA紀の里ファーマーズマーケット「めっけもん広場」を都市農村交流の拠点施設と位置付け、JA内に体験農業部会を組織。販売事業だけでなく、農作業体験、加工体験等の体験交流事業を展開。

【地域の概要】

和歌山県紀の川市



【地域の特徴】

- 農業を維持していくための手法として、都市近郊の好立地や食と農を中心とした地域資源を活用し、農泊を推進。
- 都市近郊で日帰り旅行者が多く、地域に宿泊施設が少ないため、農家民宿の受入拡大が課題。



あら川の桃

【実施体制】

紀の川グリーンツーリズム推進協議会

紀の里農業協同組合
(中核団体)

- ・ 農家民宿の開業支援
- ・ 旅行商品造成
- ・ 体験交流イベントの開催

連携

紀の川市

和歌山県

和歌山大学

紀の川市観光協会

(一社) 紀の川フルーツ・
ツーリズム

<協議会との連携団体>

- ・ (株)農協観光
- ・ (一社) 全国農協観光協会
- ・ 西日本旅客鉄道(株)和歌山支社

【地域連携】

- 地域と連携を強めるため、JAが中核団体となり、紀の川市、関係団体等で「紀の川グリーンツーリズム推進協議会」を設立。
- JAが中心となり、「都市と農村の交流拠点構想」を策定し、農産物直売所「めっけもん広場」を都市と農村の交流拠点と位置付け。JA内に体験農業部会を組織し、食と農をキーワードに観光振興と地域の活性化に取り組む。



めっけもん広場

【取組内容】

＜特徴的な取組＞

- JAが農家民宿の取組農家の拡大に向け、組合員の農家を対象に、農家民宿での旅行客受入時のリスクマネジメントの研修を実施。農家民宿でのリスクや課題を抽出し、取組農家の技能を向上。
- 訪日外国人旅行者の更なる増加を目的に全国のJAの先駆けとして「めっけもん広場」をH27年6月に免税店とし、加工品を主な対応商品に販売。



農家民宿研修会



直売所の免税店化

＜JAグループの取組＞

- JAが地域の中核組織として、農泊を推進するため、JAが果たす役割や実務について検討する「JAグループ農泊の推進研究会」をH29年8月に立ち上げ。JA紀の里が農泊の先進地として研究会に参加。

JAグループ農泊の推進研究会
(構成員)

- ・ JA紀の里、・ JAきみつ
- ・ JAいわて花巻
- ・ 農林中金総合研究所
- ・ 全国農協観光協会
- ・ JA全中、・ 農協観光

＜地域全体の取組：地域DMOの設立＞

- 紀の川市が国の地方創生推進交付金を活用し、地域住民と共に内装、外構ベンチ、体験テーブル等をワークショップにより手作りし、市民と観光客との交流等を促進する拠点施設をH30年9月開業。同年10月に同施設内に地域DMOを設立。

(一社) 紀の川フルーツ観光局
(構成員) (DMO登録申請中)

- ・ 紀の川市、・ JA紀の里、
- ・ 紀の川市商工会、・ 那珂町商工会
- ・ 紀の川市観光協会、・ 道の駅青州の里
- ・ (一社) 紀の川フルーツ・ツーリズム
- ・ JR西日本、・ 和歌山電鐵、・ 近畿大学
- ・ (株)近畿日本ツーリスト



紀の川市観光拠点



地域DMO総会